

第4回JNTO同窓会開催報告

日 時：2017年6月17日（土）11：15～15：00

場 所：慶応大学三田キャンパス南校舎3F [萬来舎]

参加者：川井仁史、山之内保、石井昭夫、北出明、田中五十一、末松睦子、井久保敏信、
上村仁、谷口せい子、辻のぞみ（年次順・10名）

次 第：

1. 代表幹事挨拶（北出）

- ・昼間の方が出やすいという会員の声に応じてランチタイムの開催を試みた。会の開催のあり方については、会員の希望も聞いてフレキシブルに考えたい。
- ・沼津で開催された静岡県の「未来をつくるツーリズム・マーケティング講座オープニング・フォーラム」に参加した。県の観光関係者 200 数十名が参加して盛況だった。府川会員とJNTOの山田洋さんがプレゼンをされたが、堂々として立派だった。会員の長岡孝さんも参加されていた。
- ・この会も4回目になり、盛会が続いていてご同慶の至り。

2. 出席者近況報告など

初参加の方がなかったので参加者がそれぞれ近況報告ないし関心事について発言し、質疑やコメントや関連発言が続出、正式開会前の11時に話し始め、昼食のお弁当を頂きながら、時間切れの3時まで途切れることなく自由懇談を続けた。いくつかのポイントを思いつくままに。

●辻さんは学科新設にからんで学科長にされてしまっ、マネジメントに時間をとられるようになった由。付近にある絞りの町「有松」の建造物等保存の状況などを紹介。

●谷口さんが高橋正美氏の著書「富士箱根ゲストハウスの外国人客はなぜリピーターになるのか」（4月21日発行）を紹介し、昨今のインバウンドの隆盛ぶりについての論議を誘発。「インバウンド」の用語とその使用についてもあれこれ議論あり。数だけを言わずもっと本質を語るべき、宿泊施設のひっ迫で出張者が苦勞する状況、インバウンドは語数制限のあるマスコミでは長過ぎ3文字の「訪日客」が広がっている、インバウンドさんなる言い方も。死語になっていた「観光公害」も再登場。

●田中（五）さんがオリンピックのプレスセンターに指定されてお台場のビッグサイトが前後2年間も使えなくなり、経済的に大損失であるとイベント業界の事情を説明。MICEは業界内用語に過ぎず、もっと一般に広める工夫が必要と。

●井久保さんは埼玉県庁でインバウンド観光促進のためのコンサルティングを行ったことを紹介。JNTO・OBのエゴさんが観光担当だったのに別の部署に転籍された。役所の宿命だが人が変わると元の木阿弥のケースもありロスを生じる。長期の担当者を指定しないと知識体験の蓄積ができない。インバウンドは県などの地方では圏外からの客をインバウンドとする取り方もある。

●上村さんが自前で提供中の「観光情報」の仕事の内幕を紹介。地方の観光担当者らに、地方の観光の動きがどのように海外の事務所に伝わっていることを感謝され、やめられなくなった。今後情報の羅列だけでなく、分析整理して提供するのが課題とも。調査・情報収集活動はJNTOにとって欠かすことのできない仕事との認識で一致。JNTOに事務所別、国別の市場分析のセクションを設けるという観光庁の意向が示された由（今年10月をめどに）。

- 末松さんが銀座三越の外国人案内所の状況を説明。これに関連して外客向け案内所の全体的状況、受け入れ対策一般について意見交換。JNTO の TIC（東京国際フォーラム裏手の新東京ビル）では、着物着付けサービスを行なってポラロイドで撮った写真を提供したり、書道の指導をしたりなどの無料サービスを行なって好評。JR パスが国内でも一部の駅で購入可能になった、永住権をもつ日本国籍者にも適用されることが決まった、などが紹介された。メイクフレンズ・フォー・ジャパンはインとアウトの両方を兼ねた素敵な企画だった（北出さんが誕生のいきさつを説明）、関連して北出さんが国際観光情報 6 月号の小方会員による巻頭言「東京オリンピック・パラリンピックを控えたバリアフリー対策」を時宜を得た名文として紹介した。
- 協力宣伝の体験談：谷口さん、川井さん、田中（五）さんらが著名人とのインタビューを成功させた逸話などを紹介。その他「ラブホテル潜入記」が書かれたいきさつなどなど、興味深い体験が語られた。協力宣伝については、メールで石井宛てに頂いた体験談とともに整理して後日紹介したい。

3. 第3回会議以降の活動記録

- 1) 第3回 JNTO 同窓会（4月15日開催）の会議録を配信（4月17日）
- 3) 国際観光サービスセンター「国際観光情報」5月号巻頭言『新しい JNTO にエールを送る』（石井執筆）を配信（5月18日）
- 4) 観光同人 13 号（昭和 56 年）「座談会…古きを訪ねて」をスキャン配信（5月18日）
- 5) 「JNTO の失われた時を求めて座談会②」（3月22日、横浜馬車道レストラン）記録を配信（5月29日）
- 6) 「観光同人」17号の池田淳さんの「国際観光三十年の思い出」を配信
- 7) 「観光同人」15号の平山清さん「私のまわりの観光人」& 「国際観光年と IUOTO 東京総会」を配信
- 8) ネットワーク経由で会員間の意見交換：府川、田中（五）、北出、平田、谷口…
- 9) 川井、山之内、北出、田中（五）、井久保、谷口、長岡、末松さんから JNTO の歴史に関わる体験談や原稿や資料を頂きました。
- 10) 末松さんから TIC時代の活動記録のファイルの提供を受けた
- 11) 上村さんから「台湾における海外旅行市場の現状と効果的なプロモーション」を貸与
- 14) 亜細亜大学紀要記事「外国人の見た日本：クールジャパンとその源流を求めて」（石井）を配付。
- 15) 小方さんの「国際観光情報」6月号巻頭言のコピーを配布

4. 今後の活動について

- 1) ネットワークを広げる努力を行う（登録のみのメンバーを含む）
- 2) 部外の講師や非会員のOBなどを招いて講演会を開催する（併せて親睦会を開催する）
- 3) ホームページはコストがかかるため当分見合わせる（記録・情報類は蓄積する）
- 4) 次回の会合は別途案内する

（文責：石井昭夫記録担当幹事）